

木造住宅にはシロアリ危険地帯がいっぱい！ 専門家による、マイホームの健康診断をお勧めします。

ヤマトシロアリの羽アリ
通常4～5月（沖縄2～3月、東北・北海道6月）に大多数の羽の生えた黒っぽい羽アリ（シロアリ）が巣から飛び出します。これは新しい巣を作るための結婚飛行であり・群飛と呼ばれ、地上に降りた雌雄がカップリングして営巣しはじめます。群飛は雨後で快晴になったような温暖多湿の日の午前10時～12時頃に多く見られます。



シロアリと蟻の羽アリ

シロアリは名前や形、大きさ、生活様式などがアリに似ていますが、アリとはまったく異なった種類の昆虫でアリの仲間ではありません。次の点で簡単に見分けられます。

	シロアリ	アリ
触角	じゅず状	くの字型
胸	すん胸	くびれ腰
	前羽と後羽の大きさが同じ	前羽が大きく後羽が小さい



木材腐朽とカビ

現代の日本家屋の多くはコンクリート基礎により、床下が囲まれ、自然換気がほとんどなく床下は湿気が滞留し、その湿気が床下部材の腐れや、カビの発生を呼び込んでいます。これは木材の耐久性の低下につながり、またシロアリの繁殖にも好条件となります。

周囲に雑木林、切り株、古材がある家

地面に直接接した木材はすぐにシロアリが侵入し、周囲に大きく営巣します。

雨どいに水もれのある家

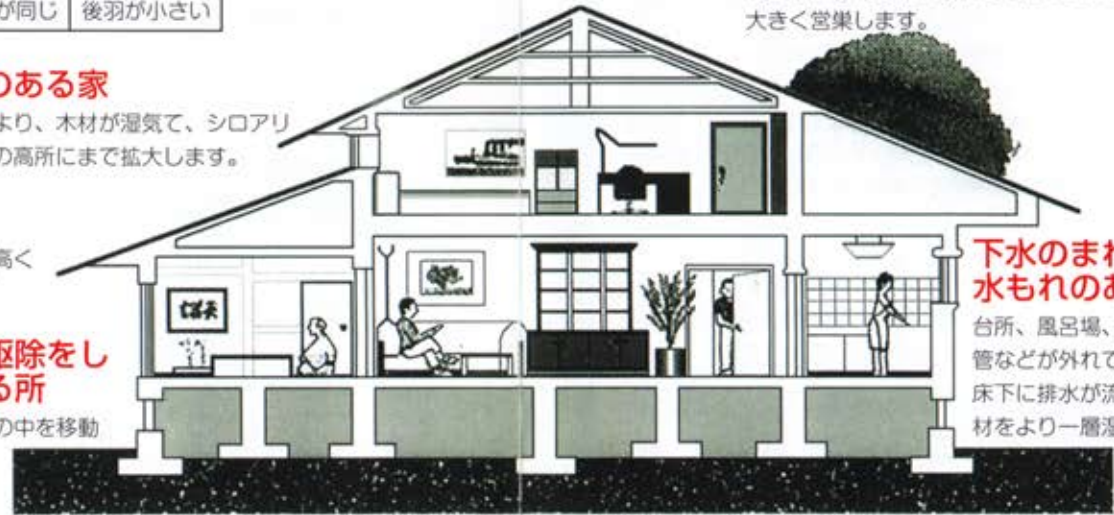
雨どいの不良や雨漏りにより、木材が湿気て、シロアリを招きます。被害が建物の高所にまで拡大します。

結露の多い家

現代の住宅は、気密性が高く室内に結露を生じます。

最近、シロアリ駆除をした家が近所にある所

シロアリは、地続きの土の中を移動してきます。



下水のまわりに水もれのある家

台所、風呂場、洗面所などの配水管などが外れていたり不良ですと床下に排水が流れ込んで、土台木材をより一層湿気させます。

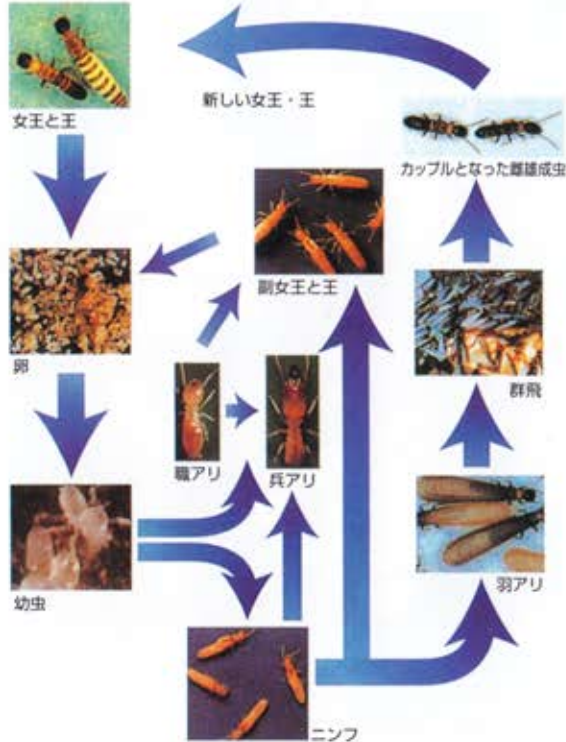
床下が低く通風が悪い家

シロアリは、暗くて湿ったところを好みます。木材腐朽、カビの発生も心配です。

早期発見と予防がなによりも肝要

大切な“住まい”をシロアリ被害から守り、地震や台風による被害を最小限に食い止めるには、定期的にシロアリ調査を行い、シロアリやその被害を出来るだけ早く発見して退治することです。それよりもさらに被害をうける前に、適切な予防対策を講じておくことがなによりも肝要です。

ヤマトシロアリの一生



日本において被害を大きく与える二種のシロアリのうち、ヤマトシロアリは全国的に分布しています。もう一種のイエシロアリは千葉県以西の海岸線に沿った温暖な地域に多く生息します。

また、近年では外来種のアメリカカンザイシロアリの被害も拡大してきています。砂粒状の糞を排出するのが大きな特徴です。家の中でそれらしきものを見かけたら、当協会にご相談ください。



アメリカカンザイシロアリの糞 (直径1mm前後)